

三省堂



準備号

小学校英語マガジン

特集

小学校「外国語」教科化で何が変わる？



小学校「外国語」教科化へのスケジュール

	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	2019(平成31)年度	2020(平成32)年度
小学校	Hi, friends! を使用しての5・6年生の外国語活動		移行期間。一部の学校で3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語		学習指導要領全面実施
文部科学省	学習指導要領改訂・発表 補助教材の検証	移行期間用教材の作成	移行期間用教材 配布・使用		
教科書会社			教科書検定	教科書採択	教科書供給・使用

どう変わる？ 平成32年度以降の教育方針

平成32年度から、新しい学習指導要領に沿った教育がおこなわれます。現在、文部科学省では学習指導要領の作成をおこなっていますが、平成28年8月、その方針(素案)が発表されました。それによれば、新しい学習指導要領は、従来の学習指導要領が示していた「何を学ぶか」に加え、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」の視点で改善されることになります。



何ができるようになるか

学ぶことで身に付く資質・能力を明確にします。具体的には、右図の中の3つを「学力の3要素」ととらえることになります。



学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか



知識・技能

何を理解しているか
何ができるか

思考力・判断力・表現力等

理解していること・できることを
どう使うか



どう学ぶか

「アクティブ・ラーニングの視点」を、教科等を越えて共有し、授業のあり方の改善を図ります。

アクティブ・ラーニングの視点

主体的な学び

学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結びつける

対話的な学び

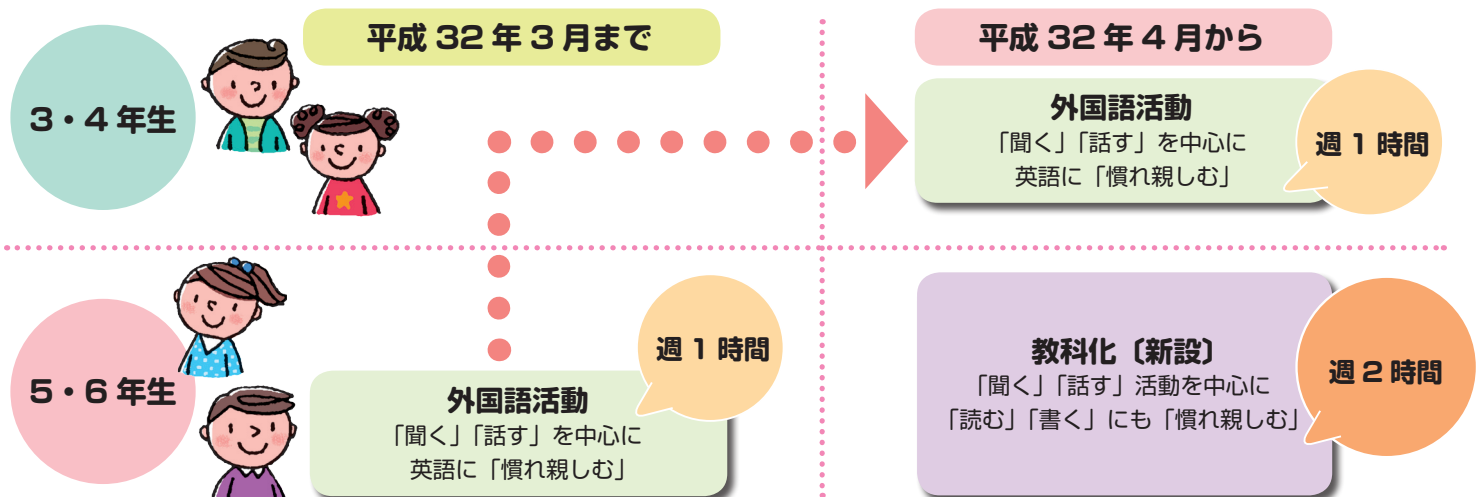
多様な人との対話や先人の考え方(書物等)で考えを広げる

深い学び

学習対象と深くかかわり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想・創造したりする

小学校で外国語(英語)が教科に

現在5・6年生で週1時間、年間35時間おこなわれている外国語活動は、3・4年生におりてきます。そして5・6年生では新たに外国語が教科となります。配当時間は年間70時間。週2時間の計算です。



小学校の「外国語」教科化で変わること



時間配当は？

70時間の時間配当を、地域・学校の実情に合わせて、時間割の中に組み込んでいくことになります。

例) 週2時間／1時間+短時間学習(15分×3)／その他(60分授業の設定等の柔軟な時間割編成)



学習内容は？

外国語活動ですでおこなわれていた「聞く」「話す」の活動に加え、「読む」「書く」の活動および言語的な知識・理解に結びつく内容への気付きが加わります。

現行「外国語活動」

言語活動

聞く
話す



新教科「外国語」

言語活動

聞く
話す
読む
書く

言語への知識・理解

- ・国語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き
- ・アルファベットの文字や単語などの認識
- ・語順の違いなど文構造への気付き



目標は？

教科としての目標は、音声関係(「聞く」「話す」)は能力に踏み込んだ目標となり、文字関係(「読む」「書く」)は態度目標として示される見込みです。

また、教科としての目標とは別に、学習の方向付けとして、指標形式の目標も提示される予定です。右は、現段階でイメージされている指標形式の目標のうち、「話すこと」の例です。

指標形式の目標例

話すこと(やりとり)

- ・挨拶やごく短い簡単な指示に応答することができるようにする。
- ・相手のサポートがあれば、自分に関することについてごく簡単な質問に答えることができるようにする。

話すこと(発表)

- ・定型表現を用いて、簡単な挨拶をすることができるようにする。
- ・自分や身の回りの物事に関するごく限られたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。



指導体制は？

外部人材を活用しながら、学級担任、専科教員を中心に指導していくことになります。そのために、「英語教育推進リーダー」「中核教員」の養成、小学校担任の外国語指導の専門性を高める認定講習等の開設、特別免許状の活用による外部人材の受け入れ、教員養成の強化などの措置が講じられます。



評価は？

目標に準拠した3観点の評価をしていくことになります。

現行

4観点

- 関心・意欲・態度
- 思考・判断・表現
- 技能
- 知識・理解



新

3観点

- 知識及び技能
- 思考力・判断力・表現力等
- 主体的に学習に取り組む態度

教科化に向け、いまから意識すべきことは？

回答者：酒井英樹先生（信州大学）



中学校英語教科書 *NEW CROWN* の編集委員であり、小学校の先生がた向けの研修も数多くこなされている酒井英樹先生に、外国語の教科化に向けて先生がたが意識しておいたほうがよいことを2点あげていただきました。

「英語で何ができるか」の観点で 児童の姿を見ましょう

教科化されると「正しい英語を使っているか」ということが重視されると誤解している人が多くいますが、重視されるのは、目的・場面・状況に応じて「英語で自分の意図を正しく伝えているか」ということです。この点を意識して児童の姿を「英語で何ができるか」という点から観察していきましょう。どのような力を育成したり評価したりすればよいのかについて具体的に考えられます。

文部科学省の現段階までの議論では、小中高それぞれで育成すべき外国語運用能力について、4技能（5領域）ごとに具体的な指標を挙げています*。小学校の外国語科においては、CEFR**のPre-A1 から A1 程度の初級レベルの英語の運用能力を育成することが提案されています。教科化されると、ここで挙げられているような英語の運用能力を育成し評価することが求められます。現在の外国語活動の中で、「児童は挨拶や短い簡単な指示を聞いて理解することができるか」「定型表現を用いて、簡単な挨拶をすることができるか」などの視点で児童の姿を把握する評価力をつけていきましょう。

*『「外国語」等における小・中・高等学校を通じた国の指標形式の目標（イメージ）たたき台』（中央教育審議会教育課程企画特別部会平成28年8月1日配布資料：文科省HPよりダウンロード可）

**CEFR(セファール):Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment 「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠」

ALT任せはやめ、 自分も教室英語を使って授業をしましょう

教科化に向けて、先生方の指導力・英語力を向上させていくことも重要です。今までALT とのTT を実施していた学校でも、学級担任が単独で授業を行わなくてはならない状況が多くなるでしょう。ALT にすべてを任せるのではなく、一緒に対話のモデルを示したり、一部の活動については主となって指導したりすることで、少しずつ指導力を高めていきましょう。

また、先生自身が授業の中で英語を使っていくことで、ご自身の英語力をアップさせましょう。語句の発音や文構造の規則など疑問に思ったことはメモをしておき、後で英語の得意な先生に尋ねたり、インターネットで調べたりしましょう。*Hi, friends!* などの音声教材をまねすることによって、発音を練習し、表現を覚えることができます。ALT の先生が活動の際に用いる教室英語をまねし、メモをすることによって、英語での指示や質問のしかた、児童の発話や行動に対する反応のしかたを学ぶことができます。小学校の先生に必要な英語力は、中学1年程度の語彙や文法を、授業の場面で使いこなす力です。難しい語彙や文法を学ぶ必要はありませんが、即座に英語を用いることを心がけるとよいでしょう。

ごあいさつ

英語教科書小学校英語編集長

伊藤加代子

平成32年度から、小学校で英語が教科となります。「ことば」は私たちになにをさせてくれるだろうと改めて考えてみると、私たちはずいぶん「ことば」に頼って生きていくと気づかされます。ことばがなければコミュニケーションは難しくなりますし、そもそも私たちは「ことば」を使って考えています。

話せる「ことば」が増えれば、可能性も広がります。この可能性は、世界と繋がる扉です。子どもたちがこの扉を開くまであとわずか。私たちになにができるのか、先生がたのご意見を頂戴しながら考えていきたいと思っております。

三省堂小学校英語マガジン 準備号

2016年10月1日 発行

編集・発行人：北口克彦

発行所：株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14

電話 03-3230-9411(編集)・9412(営業)

振替 東京00160-5-54300 <http://www.sanseido-publ.co.jp>

印刷：三省堂印刷株式会社

〒192-0032

東京都八王子市石川町2951-9 電話 046-645-6111(代)

■大阪支社

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3/06-6341-2177

■名古屋支社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F/052-953-9211

■九州支社

〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1/092-531-1531・1532

■札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F/011-616-8722